

別表(1)

教育課程及び授業日時数

ファッションビジネス科

課 程		専 門 課 程	単 位 表 示					
			学 科		単 位 表 示			
学 科		ファッションビジネス科		第 1 学 年	第 2 学 年	第 1 学 年	第 2 学 年	
科 目		第 1 学 年	第 2 学 年	第 1 学 年	第 2 学 年	第 1 学 年	第 2 学 年	
一 般 科 目	1 コミュニケーション活動Ⅰ	60				2		
	2 コミュニケーション活動Ⅱ		30				1	
	3 I T 活 用	30				1		
専 門 科 目	4 ファッションビジネス論	30				1		
	5 モ ー ド 史 Ⅰ	30				1		
	6 モ ー ド 史 Ⅱ		30				1	
	7 ファッションブランド研究Ⅰ	30				1		
	8 ファッションブランド研究Ⅱ		30				1	
	9 マーケティングリサーチ	30				1		
	10 セールスプロモーションⅠ	30				1		
	11 セールスプロモーションⅡ		30				1	
	12 コピーライティング		30				1	
	13 デザイン発想Ⅰ	30				1		
	14 デザイン発想Ⅱ		30				1	
	15 マーチャンダイジング	60				2		
	16 V M D	30				1		
	17 ファッションデザイン画Ⅰ	30				1		
	18 ファッションデザイン画Ⅱ		30				1	
	19 アパレル素材論Ⅰ	30				1		
	20 アパレル素材論Ⅱ		30				1	
	21 服飾造形Ⅰ	90				3		
	22 服飾造形Ⅱ		60				2	
	23 色 彩 学	60				2		
	24 パーソナルカラーⅠ	30				1		
	25 パーソナルカラーⅡ		30				1	
	26 コミュニケーション技法	30				1		
	27 接客マナーⅠ	60				2		
	28 接客マナーⅡ		60				2	
	29 ラッピング装飾	30				1		
	30 外国語接遇		30				1	
	31 スタイリングワークⅠ	30				1		
	32 スタイリングワークⅡ		30				1	
33 ヘアメイク実習Ⅰ	30				1			
34 ヘアメイク実習Ⅱ		30				1		
35 ショップマネージメントⅠ	30				1			
36 ショップマネージメントⅡ		30				1		
37 ビジネスプランニングⅠ	30				1			
38 ビジネスプランニングⅡ		60				2		
39 実 習 店 舗		60				2		
特 別 科 目	40 キャリアプランⅠ	30				1		
	41 キャリアプランⅡ		30				1	
	42 インターンシップⅠ	30				1		
	43 産学連携プロジェクトⅠ	30				1		
	44 産学連携プロジェクトⅡ		30				1	
	45 卒 業 研 究		180				6	
	46 ファッションビジネス特別実習Ⅰ	30				1		
	47 ファッションビジネス特別実習Ⅱ		30				1	
	選 択 科 目	48 研 修 旅 行		60				2
		49 インターンシップⅡ		60				2
		50 ボランティア活動		60				2
		51 チャレンジプログラムⅠ	30				1	
		52 チャレンジプログラムⅡ		30				1
53 チャレンジプログラムⅢ			30				1	
単 位 合 計						32	32	
年 間 履 修 時 間 数		960	960					
年 間 授 業 日 数		180	180	180	180			

注) 選択科目は2年次において60時間以上履修しなければならない

シラバス(授業概要)				年度	2020年度	
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅱ		講義・演習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	金田 真哉	
授業の目的・目標						
思いやりの気持ちをもって、相手と意思疎通がとれるようになる。コミュニケーションスキルを高め、協調性をもって信頼関係を築けるようになる。						
授業の概要						
グループ活動を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、相手と考えや意思を伝え合い、理解し合うことを学ぶ。						
成績評価の方法						
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				平常点	60%	
				学習意欲	40%	
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
1. オリエンテーション					時間数	6
2. 球技大会など						4
3. 校外研修など (東京他)						8
4. 伝馬町イベント						8
5. その他学校イベント						4
その他				関連科目		

シラバス(授業概要)				年度							
				2020年度							
時間数は45分換算				科目コード							
授業科目名		授業形態		学科・コース							
モード史Ⅱ		講義・演習		ファッションビジネス科							
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員						
2	通期	必修	30	1	金原 陽子						
授業の目的・目標											
<ul style="list-style-type: none"> 過去のトレンドが現在のトレンドのベースになることも少なくない。過去をひも解き、現在を知り、近未来のトレンドを予見してみる考察力を養う。 得た知識をコーディネート表現に活用出来る。 											
授業の概要											
<ul style="list-style-type: none"> これからのトレンドに影響を及ぼす年代の服飾を学ぶ。 学んだ知識を使って、コーディネートを企画・表現してみる。 											
成績評価の方法											
1. 課題（提出状況・完成度） 2. 平常点（主体的授業参加度）、意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） 総合的に評価する。				3. 学習 これらの要件で	<table> <tr> <td>課題</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>学習意欲</td> <td>20%</td> </tr> </table>	課題	60%	平常点	20%	学習意欲	20%
課題	60%										
平常点	20%										
学習意欲	20%										
使用テキスト・教材											
資料プリント											
授業内容・授業計画											
					時間数						
1.	自分史				2						
2.	1940年代～1950年代の服飾				2						
3.	1940年代～1950年代の服飾				2						
4.	1960年代～1970年代の服飾				2						
5.	1970年代の服飾				2						
6.	1980年代の服飾				2						
7.	1980年代～1990年代の服飾				2						
8.	1990年代の服飾				2						
9.	2000年代の服飾				2						
10.	2000年代の服飾				2						
11.	年代の服飾知識をコーディネート表現に活かす①				2						
12.	年代の服飾知識をコーディネート表現に活かす②				2						
13.	年代の服飾知識をコーディネート表現に活かす③				2						
14.	年代の服飾知識をコーディネート表現に活かす④				2						
15.	年代の服飾知識をコーディネート表現に活かす⑤				2						
その他				関連科目							
※単元ごと演習課題を実施する。											
※実務経験のある教員が担当する科目である。											

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションブランド研究Ⅱ		講義・ 演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	時田 智弘
授業の目的・目標					
1年次のリサーチ、コラージュ作りで培った能力を2年次ではクオリティのアップ、よりビジネスを意識して企画、テーマを練って独自の発想力を養ってもらう 能動的な授業形態なので、自ら動いて課題を進めましょう。					
授業の概要					
1年次のリサーチ、コラージュ作りを踏まえ、2年次は自分が目指す職業等に当てはめて、企画、テーマを練ってクリエイティブしてもらいます。最終は作品提出ですが、コラージュ以外でも作品をいう名目であるならばどういった媒体でも構いません。					
成績評価の方法					
授業最終日に提出する作品				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
パソコン					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 個人面談、テーマ、企画案出し					4
2. 企画案出し→コンテ作成					4
3. コラージュ作成：授業毎に一人一人（一人につき約10分ほど）進行具合などを聞いて回ります					4
4. ↓必要であればイラストレーター、フォトショップを使います。（使い方のレッスン有り）					4
5. ↓アナログ的な手法（ハサミ、のりなど画材を使って作品を作る事も可能）					4
6. ↓映像などの媒体も生徒が得意とするもので使いこなせるのであれば使用可能です。					4
7. ↓					4
8. 作品提出					2
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
授業科目名		授業形態		科目コード	
セールスプロモーションⅡ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	大川 直樹
授業の目的・目標					
<p>アパレル・ファッション業界での活用例を知り、就職先の業務に活かせるようになる。 動画を活用した、セールスプロモーションを行うことができる。</p>					
授業の概要					
成績評価の方法					
1. 動画のエンゲージメント率 2. 課題提出と学習姿勢				平常点	20%
				課題	80%
使用テキスト・教材					
必要に応じて資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. オリエンテーション(学習目標の共有/Teams導入/スマホ・PC設定)					2
2. ファッション・アパレルの動画マーケティングとは?(動画制作のコツと基礎知識)					4
3.					
4.					
5.					
6.					
7. ①「企画～ショップオープンまで」ストーリー動画制作(連載)					16
8. ②「バイヤー」と「コンセプト」を紹介するプロモーション動画制作(ファン獲得)					
9.					
10.					
11.					
12.					
13. Instagramショッピング機能を活用したコンテンツ制作					8
14. (ECサイト誘導・売上UP)					
15.					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コピーライティング		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	廣住 和良
授業の目的・目標					
個人の「つぶやき」ではなく、作り手、売り手側の立場から発信する言葉を創作する力を身につける。言葉によってファッションに関心を引き付ける方法を考え、創作し、発信するまでの過程を経験する。					
授業の概要					
実際に言葉を創作し、発信する。					
成績評価の方法					
課題提出、授業態度を総合的に評価する				課 題	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. コピーから始まるデザインとコミュニケーション					4
2. 地域に発信するプロジェクトのタイトル制作					2
3. 取材からコピーをつくる					4
4. 発信するメッセージをつくる					4
5. 言葉の効果を考える					4
6. コピーの役割を理解する					4
7. 最終課題制作					4
8. 作品評価・コピーライティング総括					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザイン発想Ⅱ		講義・ 演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	本野 智美
授業の目的・目標					
卒業制作展に関わるレイアウト技法習得による平面デザイン表現力を養う。					
授業の概要					
伝えるためのデザインを中心に、PCを使用したグラフィックデザイン基礎力が身に付く。					
成績評価の方法					
課題提出、授業態度を総合的に評価する				課題	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
1. ①卒業制作において、構成デザイン（レイアウト）技術の習得。					時間数 15
2. ②卒業制作展示、演出に関わるサイン計画。					15
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションデザイン画Ⅱ		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	
授業の目的・目標					
<p>企画提案の為に、具体的にイメージの伝わるデザイン画が描けるようになる。 スタイル・素材・ディテールを自由に描き分け、着用イメージをデザイン画にする事が楽しく出来るようになる。</p>					
<p>オリジナル作品としてイメージマップとデザイン画5作品を描きファイルする。 ゼロからの描きおこしでなくとも良い。リメイクも含め、オリジナル作品である事。 肝心なのは『アイデア』売れる商品を考える力、生み出すアイデアを描き留めておく力を身につける。 デザイン発想・卒業制作の授業に繋がる授業。卒業後も商品企画、起業などのプレゼンに必要なスキルの習得を目指す。</p>					
成績評価の方法					
1. 課題 A4ファイルにイメージマップとデザイン画(5作品以上) 評価は作品の完成度とプレゼン				課題	50%
2. 平常点 学習参加度と意欲				平常点	30%
3. アイデア 課題に盛り込まれた商品企画のアイデアの優劣				アイデア	20%
使用テキスト・教材					
ファッション誌 A4クリアファイル 必要に応じてPC使用 生地端 画材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. トрендや市場動向を踏まえたオリジナルのデザインをする (年代・シチュエーション・価格帯・素材等を設定)					2
2. 素材・画像・雑誌のコラージュ等でイメージマップを制作					2
3. デザイン画の下絵となるオリジナルボディ&フェイスの制作					2
4. デザイン画①					2
5. デザイン画②					4
6. デザイン画③					4
7. デザイン画④					4
8. デザイン画⑤					4
9. 作品の背景・キャプション・素材・プライス設定					2
10. ファイリング					2
11. 作品発表(プレゼン形式で1人ずつ発表)」					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			デザイン発想		
			卒業制作		

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アパレル素材論Ⅱ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	金原 陽子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 『素材』は衣服を構成する要素の一つである。物性・感性両面での素材知識を学ぶ。 学んだ知識を折り込み、コーディネート提案、アドバイスが出来るようになる。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> 素材の加工、布地のテクスチャーなど感性を養う。 被服管理面の知識を学ぶ。 					
成績評価の方法					
1. 期末試験の点数				期末試験	65%
2. 平常点（主体的授業参加度）、				平常点	20%
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）				学習意欲	15%
これらの要件で総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
アパレル素材論（文化服装学院編）		テキスタイルハンドブック（文化出版局）			
資料プリント					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 1年時の復習					2
2. 染色について①					2
3. 染色について②					2
4. 柄について①					2
5. 柄について②					2
6. 定番素材①					2
7. 副資材について					2
8. 衣服のメンテナンス①					2
9. 衣服のメンテナンス②					2
10. アパレル製品の保証とクレーム					2
11. ニット（ヨコ）製品について					2
12. 課題実習①					2
13. 課題実習②					2
14. 課題実習③					2
15. まとめ 期末試験					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要) 時間数は45分換算					年度	2020年度
					科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
服飾造形Ⅱ		実習		ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	60	2	カルフォ香奈	
授業の目的・目標						
1年次に学んだクリエイティブな発想を応用し、VMDの実践としてオリジナルを表現する。						
授業の概要						
ファッションもアート・建築・音楽との境が低くなり、知識があれば業界のあらゆるシーンで役立つことになる。これからの時代に、クリエイションとビジネスがどの様にして展開していきけるのか、新しいヴィジョンで創造することを学ぶ。						
成績評価の方法						
課題提出(作品の完成度) 学習意欲(チームワークのあり方、授業に取り組む姿勢)					課題	80%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
・配布資料						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. (1)概要説明、店舗、インスタレーション、ウィンドー、アート、建築などリサーチ。テーマ決め。						6
2. アイディアを発展させて、コラージュなどで表現する。アイディアチェック。						6
3. アイディアを発展させて、コラージュなどで表現する。アイディアチェック。						6
4. プレゼンテーション準備						6
5. (2) アイディアを形にしていく。素材やデザインのリサーチ、制作						12
6. 制作、チェック						12
7. 制作、まとめ						12
その他					関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
パーソナルカラーⅡ		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
1年で学んだパーソナルカラーの基礎をベースにし、応用知識の習得と実践的な力を身につけます。他者へのアドバイス方法と販売、サービス業での活用方法の理解を深め、レベルアップした証にパーソナルカラー検定モジュール2（上級レベル）の合格を目指します。					
授業の概要					
上述の内容に沿って細目を設け、テーマ毎に確認テストを実施します。配色カードやドレープ等を使い、実践力も身につけます。過去問題を繰り返し解くことで出題傾向をつかみ、苦手な問題も克服します。					
成績評価の方法					
パーソナルカラー検定モジュール2の合否結果、過去問題の点数、学習意欲（欠席・遅刻日数、授業態度等）を総合評価した上で決定します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
役に立つパーソナルカラー 配色カード のり はさみ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	パーソナルカラー概論				1
2.	フォーシーズン分類の考え方				1
3.	パーソナルカラーの分析				2
4.	色のしくみ				2
5.	マンセル表色系				2
6.	PCCS記号とマンセル記号の一致				2
7.	色名				2
8.	パーソナルカラーと色彩調和論				2
9.	配色法のバリエーション				2
10.	イメージとトーン				2
11.	活用テクニック				2
12.	メンズカラーコーディネート				2
13.	分野別パーソナルカラー				2
14.	実習・誌上分析セミナー				2
15.	過去問題				4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客マナーⅡ(A)		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	斎藤 千明
授業の目的・目標					
販売現場での即戦力となる具体的な応対手法の習得と、全国ロールプレイング大会に向けたトレーニングの実施。					
授業の概要					
全国ロールプレイング大会出場者選抜と個々の応対レベルアップをはかる。 (お聞きだしとニーズに合った商品提案)					
成績評価の方法					
1. 課題 (体現状況・完成度) 2. 平常点 (主体的授業参加度)、 意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) 総合的に評価する。				3. 学習 これらの要件で	課題 60% 平常点 20% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
◆テキスト＝「ストアマネジメントコースⅠ」					
◆他使用教材＝DVD「F Aは素敵な仕事」「お客様の心をつかむ応対スキル」					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 授業概要の説明(目的と着地イメージの共有)＊ロールプレイング大会概要含む					2
2. 『基本姿勢と基本行動』⇒「ルルマナー」のチェックシートを使用し、日頃の自分を振り返る。社会人としての必要性を理解。 「対お客様の場面での言葉遣い」ミニテストと解説。					2
3. 『基本姿勢と基本行動』⇒「5つのテーマ」「5つの心」の体現の大切さの理解。 「お客様対応8用語」の理解と「5つのテーマ」を体現しての演習。					2
4. 『接客スキル』⇒「お聞きだし～提案」(RP実習) 受け止めの大切さの理解とその演習。「ニーズに合った提案」の理解とその演習。					2
5. 『接客スキル』⇒「金銭授受」「電話対応」「お見送り」(RP実習)					2
6～13 『接客スキル』⇒総合ロールプレイング(男女別)					16
14. 『まとめ』⇒総合ロールプレイングテスト(実技)					2
15. 『まとめ』⇒総合ロールプレイングテスト(実技) 授業の振り返りと選抜メンバー発表 ＊選抜メンバーは大会に向け、別途トレーニング。					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客マナーⅡ(B)		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	澤田 恭子
授業の目的・目標					
接客コンテストに向けた高度な商品知識と 良質なサービスを兼ね揃えた接客技術の向上。					
授業の概要					
実践トレーニングによって即戦力になる接客技術の習得。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) 3. 実技試験 これらの要件で総合的に評価する。				平常点	30%
				課題	30%
				実技試験	40%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 授業内容・成績評価説明、接客コンテスト概要、販売基本動作 (おさらい)					2
2. 購買心理 8段階、精算対応、表現方法 (おさらい)					2
3. ロールプレイング①全体の流れ (入店～退店)					2
4. ロールプレイング② ファーストアプローチ (声掛けのタイミング・内容)					2
5. ロールプレイング③ セカンドアプローチ (聞き取り・会話)					2
6. ロールプレイング④ ニーズ確認 (聞き取り・会話・表現)					4
7. ロールプレイング⑤ クロージング (精算・来店促進)					2
8. ロールプレイング⑥ (入店～退店)					6
9. テスト (演習)					4
10. 実技テスト					4
※授業外にて学内接客ロールプレイングコンテストを開催。					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2019年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
外国語接遇		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	杉山 和代 陳 浩 鄭 泰元
授業の目的・目標					
グローバル化が加速する中で、店頭販売時における言葉の引き出しをつくる。					
授業の概要					
店頭販売時において、外国人観光客への基本的な接客用語を外国語に変換し対応することができる。					
成績評価の方法					
1. 課題 (体現状況・完成度) 2. 平常点 (主体的授業参加度) 3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) これらの要件で総合的に評価する。				課題	60%
				平常点	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 英語 (杉山和代) ※最終回に実技テストを実施					10
2. 中国語 (陳浩) ※最終回に実技テストを実施					10
3. 韓国語 (鄭泰元) ※最終回に実技テストを実施					10
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
スタイリングワークⅡ		講義・ 演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
<p>①トレンドのスタイリングを把握し先を予測する力を養う。</p> <p>②ファッションに影響を与えたカウンターカルチャーを知り知識、技術、着こなしの幅を広げる。</p>					
授業の概要					
<p>①トレンドをおさえ消費者の幅広いニーズに対応可能なコーディネート提案力が身につく。</p> <p>②カウンターカルチャー(時代 映画 音楽 ムーブメント)をクロスオーバーさせた独自のスタイリング手法を習得。</p>					
成績評価の方法					
1. 平常点(主体的授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲(学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				課題	30%
3. 実技試験				実技試験	40%
これらの要件で総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
ファッションスタイルクロニクル WWD JAPAN 他資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 2020 S/Sトレンド総括。トレンド5つのキーワード解説～まとめ					4
2. 2020 S/Sトレンドスタイリング実践					4
3. カウンターカルチャーをクロスオーバーさせたスタイリング企画概要～アイデア出し。					4
2020 S/Sトレンドをベースに 時代(60s～90s) 映画(60s～90s) 音楽(60s～90s) ムーブメント(60s～90s) 4つのキーワードを紐づけて「今」というフィルターを通し、独自のスタイリング企画書を作成。					6
4. スタイリングシュミレーション(ヘアメイク&洋服のスタイリング)					1
5. 企画プレゼン					1
6. 撮影					8
7. ※2020 A/Wトレンド総括資料配布&解説					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ヘアメイク実習Ⅱ		実習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	増田 阿貴子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ヘアメイクの応用を習得 トータルでイメージを表現、演出する力を習得する 					
授業の概要					
<p>一年時に習得したヘアメイク技術を応用し、様々なテイストやトレンド、素材を取り入れ、活用できる力を身につける。 基礎をおさえ、自由に柔軟な発想でヘアメイク作品を制作する。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業意欲 課題提出 				平常点	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
配布資料・メイクパレット・ブラシセット他					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 一年時の復習と今後の授業内容・課題内容の説明					2
2. イメージカバー製作					2
3. ↓					2
4. 2020SSトレンドヘアメイク					2
5. 実習店舗のプロモーションに向けて設営準備					2
6. ↓					2
7. 実習店舗のプロモーションに向けて撮影					2
8. ↓					2
9. 年代別メイク60s～90s リサーチ					2
10. 年代別メイク60s～90s 実技					2
11. 【計画】 スタイリングを決め、そのスタイリングに合うヘアメイクを制作					2
12. 【制作練習】					2
13. 【制作・発表・総評】					2
14. ↓					2
15. ↓					2
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ショップマネジメントⅡ		講義		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	松本 眞由美
授業の目的・目標					
店舗責任者・売場責任者として計数管理を応用し、品揃え・仕入・販促企画と連動した売上目標の設定から売上分析ができる					
授業の概要					
店舗運営において必要な売上・仕入・在庫・利益等に関する基本知識を、実習店舗の企画・運営・終了後の分析を通し、実践的に理解する					
成績評価の方法					
課題提出、授業態度を総合的に評価する				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
やさしくわかる「お店の数字」 著書：山田 公一 価格：1,470 出版社：日本実業出版社 ISBN-10：4534050437 ISBN-13：978-4534050434 発売日：2013/2/15					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	過去の実習店舗売上実績の分析（1年生の復習）				2
2.	実習店舗企画にもとづく経費の試算 （仕入・販促・VMD・EC開設および運営費用等）				2
3.	予算の科目配分と売上高・利益高予測（仕入商品の価格設定含む）				2
4.	〃				2
5.	販促アクション（企画）と連動した日別売上目標設定 （実店舗・ECの部門別含む）				2
6.	販売後の売上集計・利益分析（報告会準備）				2
7.	〃				2
8.	〃				2
9.	〃				2
10.	〃				2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			ショップマネジメントⅠ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスプランニングⅡ		講義 演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	川松 夕見子
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに不可欠な要素を理解し、市場や企業の動向、消費者意識やニーズをとらえること。 ・実現可能性のあるビジネスプランをまとめ、プレゼンテーション(提案)ができること。 ・グループワークにより、共通の目標に向け各自役割を持って協力し合えること。 					
授業の概要					
<p>ファッションだけに限らず、日常生活から社会全般まで問題意識を持って課題発見する視点を養い、そこを出発点に具体的なビジネスプランを組み立てるプロセスを学ぶ。 将来的に、「起業」も視野に入れた仕事のイメージ作りとビジネス感覚を身につける。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク取組み(リーダーシップ、協力姿勢、積極性等) ・プレゼンテーション(企画発表の内容と表現) ・ビジネスプランコンテスト応募 				課題	40%
				平常点	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料 					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 「ビジネスプランニングⅠ」(1年次)振り返りと復習、ビジコン概要					4
2. 課題オリエン、テーマコンペ、チーム分け					4
3. アイディア出し、現状分析、課題設定					4
4. 事業コンセプト検討、中間チェック準備					4
5. 中間チェック(事業コンセプト発表)、リサーチ計画					4
6. リサーチ実施					4
7. リサーチまとめ、商品/サービス案検討					4
8. ビジネスモデル、販売計画					4
9. 資金/収支計画					4
10. 全体まとめ、スライド作成					4
11. プレゼン準備、リハーサル					8
12. 最終プレゼンテーション(企画発表会)					4
13. プランのブラッシュアップ、ビジコン応募用紙作成					8
その他				関連科目	
※単元ごとと演習課題を実施する。				ビジネスプランニングⅠ	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
実習店舗		実習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	60	2	金田 真哉 渡辺 一弘
授業の目的・目標					
店舗企画を基に、デザインファームにおいて商品仕入から販売促進、店舗演出、接客、ショップマネジメントなどの運営における全ての業務を行い、店舗を形成する業務の一連の流れと全体の構成を理解する。					
授業の概要					
一般消費者に向けての店舗企画・運営を行う事で今の流行や消費者動向を体感し、より就職に向けての意識を高める事が出来る。就活における企業へのアピールとなる。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> グループワーク取組み (リーダーシップ、協力姿勢、積極性等) プレゼンテーション (企画発表の内容と表現) ショップ運営取組み内容 				平常点	30%
				意欲	30%
				運営	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
◎企画立案 1～20 ・商品構成・・・Mens商品及びLadys商品の構成比率、運営時季を想定したアイテム別構成 ・販売促進・・・プロモーション内容、デザインファームまでの客導線など ・デザインファーム図面を基にした店内の客導線と演出内容 プレゼンテーション ◎運営準備 21～35 ・仕入れ、値付け、備品購入・設営 (各役割内容により異なる) ・ECサイト開設・運営 ◎反省報告会準備 36～43 ・データ準備 ・報告会練習 44～45 ◎実習店舗運営報告会					時間数
					30
					20
					8
					2
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプランⅡ		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	佐々木 史
授業の目的・目標					
1. 就職活動の実践力を高める。 2. 就職活動を通じて、社会人としての自覚を持つ。					
授業の概要					
就職活動で経験した自分の体験に、他人の体験を情報として加えることで実践力を高め、就職内定をとる。					
成績評価の方法					
・出席状況 授業意欲 ・課題提出				平常点	30%
				授業意欲	30%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ファッション業界の就職活動のポイント					2
2. ファッション系企業の選考試験の種類と内容					2
3. 活動体験に基づく対応方法の検討1					2
4. 活動体験に基づく対応方法の検討2					2
5. 活動体験に基づく対応方法の検討3					2
6. 活動体験に基づく対応方法の検討4					2
7. 活動体験に基づく対応方法の検討5					2
8. 活動体験に基づく対応方法の検討6					2
9. 活動体験に基づく対応方法の検討7					2
10. 活動体験に基づく対応方法の検討8					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクトII		実習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
<p>商業施設やトレンド、シーズンのメッセージをどのようにお客様に届けるかという実践授業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業へのVMDプレゼンテーションの企画書、プレゼン方法を学ぶ。 ・商業施設内での全体シーズン演出のプロセスを知る。 ・VMDやトレンド、スタイリングなどの授業を現場で応用する。 					
授業の概要					
<p>商業施設のショーウィンドウやVP、PPのプランニング～設営までを体験させていただく。企画立案、グループワーク、プレゼンテーション、現場までの計画、予算立て、装飾物・ディスプレイツールの製作、当日の設営スケジュールまでを経験し、企業や店舗との関わりを学ぶ。1年次から引き続き2回目となるので、より完成度高く、購買に結びつける演出ができるようになる。</p>					
成績評価の方法					
課題（プレゼンシート、店舗VMD完成度） 平常点（主体的な授業参加度） 学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢）				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. キックオフ、概要説明、グループ分け、役割分担決め					2
2. リサーチ、プランニング、現場調査					4
3. アイディア出し（ブレインストーミング、アイディア整理）					
4. プレゼンシート作成					4
5. 完成スケッチ、サンプル製作、予算組み					
6. プレゼンテーション準備					4
7. プレゼンテーション					
8. 製作スケジュール、購入物決定					4
9. 製作、商品コーディネート					6
10.					
11.					
12.					
13. 現場設営					6
14.					
15.					
その他			関連科目		
商業空間デザイナー、VMDインストラクター					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス特別実習Ⅱ		講義・ 演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	萩原 和幸 金田 真哉
授業の目的・目標					
①業界の今を知り吸収する。 ②実体験を通じ視野や価値観を広げる。 ③感性を磨く。					
授業の概要					
①業界の今を肌で感じ吸収し就職活動、就職後の実務に役立てる事ができる。 ②感性を高める事ができる。					
成績評価の方法					
1. 学習意欲（実習への参加度合、参加態度） 2. 課題（提示された課題。）				平常点	40%
				課題	60%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1. ファッションフォト（スタイリング撮影）萩原					時間数
					16
2. 外部イベント					14
※他、年間スケジュールを考慮し物理的に可能な範囲内で セミナーへの参加、外部イベントへの参加予定					
その他			関連科目		